


アートマイルプロジェクト評価シート

■基本情報について教えてください。

学校名 [内灘町立西荒屋小学校] 担当教諭 [6年担任 本保智克]			
児童生徒の学年・参加人数 (複数学年であれば学年別に): [6年 15名]			
実施期間: H19年9月 ~ H20年3月			
交流: 無・  (国名[カナダ] 学校名[Elgin Ave. Public School] 学年[5年] 担当教諭[Dave Wilson])			
実施教科・時数 (関連させたものをすべて)	教科	単元名	時数
	英語活動(総合)	自己紹介カード、ビデオを作ろう	3時間
	学活	学校紹介ビデオを作ろう	1時間
	総合	世界の人と手をつなごう	15時間
	国語(書写)	好きな言葉を書いて伝えよう	1時間
	社会	世界の人と手をつなごう	5時間

■作品について教えてください。

題(テーマ)	The four seasons of SIMCOE & ISHIKAWA
絵に込めたメッセージ	それぞれの国の四季を背景に、自然や食物、地域の特色ある建物を、文化を教えあった。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	4月	6年生の総合的な学習の時間の大きな流れを知る。	Artmile project と共に、地域にまつわる民話の人形劇作成もあり、「大変だ」という思いをもった。	総合1
情報収集	6月	交流校が決まっていないので、3学期の単元を前にもってきて、日本とつながりの深い国々の様子を、様々な観点から調べた。(1人1国)	調べた国に対して興味をもち、一体どこの国の小学生と交流できるのか盛り上がった。内容の発表は3学期に行った。	社会5
先生のE-mail内容紹介	9月～3月	E-mail を利用し、先生同士の個人的な自己紹介や、学校・クラスの様子などを送り合い、その内容を児童に伝えていった。また、絵の内容吟味や制作具合、送り合った荷物のことなど、細かく児童に伝えていった。	児童の思いも取り入れつつ、「どんなものを描くか」「何をテーマにするか」など、宿題などで考えて発表し、今回は互いの国の四季を描くことになった。	総合4
制作	11月～1月	ラフスケッチを塩井先生に今年度お願いし、それを元に描いた。土日や、テスト中早く終えた子も取り組んだ。	15人の少人数クラスだが、全員同時には描き難いので、3人チームを決めて行き、少しずつ長い時間をかけ制作を楽しんでいった。	総合9
郵便	12月～2月	郵便で出来上がった日本側の絵と共に、英語での自己紹介カード、ビデオテープ、書写作品などを送った。	カナダからは、同様に作られた自己紹介カードの他に、メープルキャンディが送られてきて美味しく頂き、児童はとても喜んでいった。	英語3 学活1 書写1
鑑賞	12月3月	日本側のものが12月に完成し、学校で全校児童に紹介した。E-mail に添付写真も付けた。同様に、3月半ばにカナダから完成品が到着し、観賞した。	カナダからのE-mail が送られてきた時点で、写真により紹介していたので、大体の出来上がり予想は掴んでいた。実際の完成品を見て、「よく頑張った」という満足感を得た。	総合1

■学習目標と成果はどうでしょうか？（順位は重視したものから順に1～5まで記入してください。順位のつかないものも記入してください）

（5：とても身についた 4：身についた 3：どちらともいえない 2：あまり身につかなかった 1：まったく関連がなかった）

順位	つきたい力・指導目標	先生の手応え	そう感じた場面・理由
2	コミュニケーション・スキル	5・④・3・2・1	普通の英語活動で活発な発言が見られ、それを紹介ビデオで十分に発揮していた。
	情報活用能力（収集・発信）	5・4・③・2・1	内灘は英語活動で楽しむことがメインなので、英語を児童にE-mailに書かせることはせず、教師が英訳して送った。
1	人間関係をつくる（交流相手・学級内）	5・④・3・2・1	自己紹介、学校・クラス紹介、送られてきた絵などに対し、とても興味をもった。特に今回は、不登校気味だった児童が得意の絵を生かしてメインになって頑張り、登校を続けるきっかけになって良かった。
	協同作業をする力（役割・段取り）	5・4・3・②・1	役割・段取りはほとんど教師主体で行った。総合で2つの大きな内容があったので、仕方なかった。
	異文化の理解	5・4・3・②・1	カナダについて深く調べる活動も出来なかったため、残念だった。（3月の本保の病休の為）
3	自文化の理解・自分を見つめる	5・④・3・2・1	詳しく調べたわけではないが、「何を描くか」「日本らしいものは何か」などについて、活発な意見が出た。
4	表現力	5・④・3・2・1	物怖じしない児童たちなのだが、ビデオによる交流だったので、元気良く紹介したい事柄を述べていた。出来ればテレビ会議をさせたい気持ちはあったが、担任の技量とALTのサポートが得られなかった。（時間の都合が悪かった）
	学習を追究する意欲	5・4・③・2・1	「次に何をしよう」ということも、教師が主体になりがちにならざるを得ない状況だった。
	その他（具体的に記入）	5・4・3・2・1	

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成果	課題
内灘という田舎に育った児童たちが、世界に初めて目を向けた半年であった。「自分たちにも頑張れば大きなことが達成出来る」という喜びや満足感が得られた。また、不登校気味だった児童の登校や、その子とクラスメイトとの交流機会が増えたことは、今年1番の収穫であった。煩わしく感じていた英語も、ALTの協力と翻訳ソフトにより、殆ど支障を感じなかった。今年度は利用しなかったが、年度途中町に国際交流のサポーターが入った。	来年度も是非 Dave のクラスメイトと交流したいと、互いに思ってE-mailを続けている。（勿論来年度の担当学年にもよるが）1年の始まりが違うため、どうしても同じ児童で互いに1年間続けられないのがネックになっている。また、週に1度しかALTが来ず、時間も限られているので、テレビ会議を行うことは難しいので残念である。来年度本校は、道徳の研究発表会も抱えており、artmileに集中して取り組めるかどうか不安である。

■その他ご感想・アートマイルプロジェクトへの要望などありましたらどうぞ。

来年度も可能であれば、是非参加したいと考えています。宜しくお願いします。

